

結評 かへりみれば彌八の死は、許嫁の女子の

生涯に一大頓挫を與へ、遂に楽しい日月を見る事

をさせず。一生をして逆境に沈ましめました。
群雄割據武斷政治の當時の社會は、纖弱なる一
婦人をして淺間しくも復讐の悲劇を演ぜん事を命
じました。

天下を動かすところの大勢力をもてる誠實は、
實に農家の一少女の心底にとらへられ、貞烈とな
つて青史にあらはれ、その名のもとに万世に輝い
て居ます。

嗚呼一少女！ 嗚呼一婦人！ もとこれ尾張在
郷の一農民の女！ 信行の侍女勝子よわはれ。



夕 早 苗

諏訪 忠 元

夕日影さすや門田に賤の男が
くれぬそのまとさなへとるなり

増山 三 雪 子

夕日影かたふく頃は賤の女が
さなへとる手もいそしけにみゆ

相 澤 求

星をみて出にし賤は星を見て
歸るまでとるさ苗草かな

又 原 保 行

千町田の苗代水に夕月の

影みゆるまでさ苗とるなり